



保坂 悟  
議員

### 保育士の正職員と 臨時職員の割合に ついて

#### 保育士の正職員と 臨時職員の割合について

質問

市内保育園の保育士の正職員と臨時職員の割合が1対2となっている現状について、改善等の検討状況を伺う。

市長答弁

保育士の正職員と臨時職員の割合を1対1とする方針で、定員適正化計画に沿って、計画的な採用を行いたい。当面は、3歳以上のすべてのクラス担任は正職員を配置するようになりたいと考えている。



渡辺 重雄  
議員

### 交流人口拡大対策 について

質問

当市の人口減少は、総合計画での推計より幾分は鈍化しているものの、合併時より約4千人減少している。定住人口の増加が期待できない現状

#### 交流人口拡大対策について

では、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図ることは大変重要であるが、全国各地が交流人口拡大に知恵を絞っている中、今後、ますます激しさが増していくものと考ええる。

合併後の観光入込客数の推移などから見て、各施策の効

### スポーツによる まちづくりについて

質問

新幹線開通を見据え、スポーツ大会や合宿などで交流人口の拡大を図るべきと考えられるが、スポーツ大会などの支援や誘客戦略はどうか。宿泊施設・観光協会・体育協会・行政等による戦略会議を設置する考えはないか。



市長答弁

スポーツ大会などの支援や誘客戦略については、主体となって運営を行う実行委員会等へ行政が必要な支援を行うことで、交流人口の拡大につなげていきたい。戦略会議の設置は考えていないが、今後も関係機関と連携を図りながら側面支援を継続したいと考えている。

#### 《その他質問項目》

- ・災害に強いまちづくりについて
- ・エネルギー施策について

市長答弁

各種のプラン効果、検証については、入込客数及び宿泊者数、来訪者の満足度やニーズを基本に、各プランの数値目標とも照らし合わせ、改善しながら取り組んでいる。

#### 関係機関との連携強化について

では、ジオパークの推進、母体である糸魚川ジオパーク協議会の構成団体を中心に連携して事業を進めているほか、個別の取り組みについても各種団体と連携、協力をしながら取り組んでいる。

情報発信については、パンフレットやホームページ、テレビ



スタートの順番を待つ「グランfond糸魚川」の参加者のみなさん (10月7日 能生海洋公園)

番組、観光キャンペーン等による効果的な展開を図るほか、現在はソーシャルネットワークを活用したクチコミなどによる情報伝達方法も重要視されており、今後、それらも活用した、効果的な取り組みを進めていきたい。

また、東京糸魚川会など、各地で活動されている団体との連携を深めることが交流人口の拡大等につながるものと考えており、ふるさと市民制度等の新たな制度の導入は考えていない。